Public Relations Magazine

KUMAGAYA

1

市報くまがや

2026.Jan
Vol.244

特集 | 市長新春対談



歓喜院聖天堂（妻沼聖天山）
奥殿 腰羽目彫刻

進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

KUMAGAYA 20th Anniversary

市報熊谷
2026

新年のご挨拶



熊谷市長　小林（こばやし）　哲也（てつや）

明けましておめでとうございます。市民皆様におかれましては、希望と期待に満ちた新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政運営に、ご理解ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

昨年、熊谷市は誕生２０周年を迎えました。熊谷市誕生２０周年記念、そしてシティプロモーションのキャッチフレーズでもある「進め、明日のその先へ」を合言葉に、まちの変化や生活の変化を実感していただけるように、全力で市政運営に取り組んでまいります。

まず、新たな取組として、妻沼地区でワゴン車を活用した乗合型オンデマンド交通が１月から始まります。この新しい交通システムは、事前予約を行うことで、どなたでも利用でき、指定された１３０か所の乗降場所の間を移動できます。買い物や通院、雨の日や荷物の多い時など、様々な場面でご利用いただきたいと考えています。

また、新たに子育て支援・保健拠点施設「くまキッズ」が４月にオープンします。この施設は、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援や保健活動の更なる充実・強化のための施設です。産前産後やこどもの成長など様々な相談ができる環境のほか、乳幼児から高校生世代まですべてのこどもたちが気軽に訪れ、自由に遊び、学び、体験できる場として、また、市民の健康づくりを支援する拠点として、ぜひご利用いただきたいと思います。

さらに、今年の１１月、熊谷市では高齢者を中心とする全国的なスポーツ大会や文化の祭典である「ねんりんピック彩の国さいたま２０２６」も開催されます。

このほか、郷土の偉人である荻野吟子さんを、市内の方にはもちろんのこと、市外の方に対してもその生涯、功績について知っていただくため、ゆかりのある自治体と連携し、魅力発信に力を入れるなど、「内外に誇れる熊谷」「熊谷で暮らすことの価値」を実感できるような様々な取組を進めてまいります。

結びに、新しい年が、皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますことを心から祈念申し上げまして、新年の挨拶といたします。

市長新春対談



市長　明けましておめでとうございます。

本日は、公益社団法人日本女医会埼玉支部支部長の大川みどりさんにご出席いただきました。多忙なスケジュールの合間を縫って市役所にお越しいただき、心から感謝いたします。

大川さんにおかれましては、熊谷市で医師として、多くの方の健康維持に貢献いただいているほか、平成12年から学校医を務めていただくとともに、令和７年度に開始した「学校協力医」の立ち上げにも寄与し、多大なるご尽力をいただき、改めて感謝申し上げます。

さて、熊谷市は日本最初の公許女性医師である荻野吟子の出身地です。荻野吟子は、医術開業試験に女性の受験が認められない状況の中、強い信念と行動力で道を切り拓き、日本公許女医（こうきょじょい）第一号となった人物です。

本日は、荻野吟子や本市の魅力などについて、大いに語り合いながら、本市の輝く未来を象徴するような、実りある対談になればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

荻野吟子（おぎのぎんこ）を通した広域連携と魅力発信



熊谷で生まれ育ち医師を目指した幼少期

大川　よろしくお願いいたします。熊谷で生まれ育ち、郷土に愛着を持っているところに、このような機会をいただき、私は大変光栄に思っております。

父が産婦人科医だったため、私も子どもの頃から一切迷うことなく、産婦人科医を目指しました。医師になってから父の産婦人科を手伝うことになり、とてもかけがえのない仕事をさせてもらっていたと思っています。

しかし、産婦人科医の仕事が過酷だったこと、さらに、生まれた息子の目に眼底出血があり失明の危険があると診断されたことをきっかけに、私が息子を診て治すんだと決意し、眼科医になることを決めました。

市長　そんな壮絶なドラマがあったんですね。息子さんの病気が分かったときのお気持ちは計り知れないものがあります。それでも、自分が息子さんの病気を治すんだという気概やそれを実際に実行できるというのは、相当な気持ちの強さがあったのだろうと思います。

女性の道を切り拓いた荻野吟子の信念

市長　本日のテーマである荻野吟子も、強い気持ちを持って、女性医師の道を切り拓いた方です。なにか、大川先生に重なるものを感じますね。

大川　そう言っていただけてうれしいです。

私たちの時代は、なんの障壁もなく女性が医師を目指せる時代です。しかし、そうではない時代があって、それを荻野吟子は自ら切り拓いていきました。並大抵の努力ではなかったと思います。

私は、果敢に時代と困難に立ち向かった荻野吟子を尊敬していますし、そんな偉大な人が、ここ熊谷出身だということを皆さんにもっと誇りに思ってほしいです。荻野吟子がいなかったら、私もそうですが女性が医師を目指せなかったかもしれない、それだけ影響を与えた人です。熊谷は暑いだけじゃないんだと胸を張って言いたいです。

市長　市民の皆さんにも熊谷市民であることを誇ってもらえるような、そういうまちにしていきたいと思っています。荻野吟子は熊谷の誇り（プライド）であるということをもっとアピールしていきたいですね。私は、合併後長らく交流ができていなかった、荻野吟子に関わる市町村と連携して、その発信に力を入れていきたいと考えています。昨年は、北海道せたな町と今金町（いまかねちょう）に赴き、各町長さんと連携を深めていこうとお話をしました。大川さんも、せたな町に行ったと伺いましたが、どのようにお感じになりましたか。



大川（おおかわ）みどり氏

公益社団法人 日本女医会
埼玉支部 支部長

産婦人科医から自身やご子息の病気の関係で眼科医に転身。
地域医療にも従事し、平成12年から現在まで学校医を務める。
日本眼科学会認定　眼科専門医


荻野吟子

嘉永 4 年	（1851 年）3 月 3 日、幡羅郡俵瀬村（現熊谷市）に生まれる
慶応 2 年頃	（1866 年）上川上村（現熊谷市）の稲村貫一郎（いなむらかんいちろう）と結婚。
明治 5 年頃	（1872 年）病気のため大学東校に入院。女性医師の必要性を痛感し、医師を目指す契機となる。
明治 8 年	（1875 年）東京女子師範学校に入学、明治 12 年同校を卒業。
明治 12 年	（1879 年）私立医学校の好寿医院に入学、明治 15 年優秀な成績で卒業。
明治 15 年	（1882 年）東京府に医術開業試験の願書を提出したが却下。翌年、東京都・埼玉県に提出も却下。内務省に請願書を提出するも却下。
明治 17 年	（1884 年）医術開業試験の受験が許可され、9 月前期試験に合格。翌年 3 月後期試験にも合格、公許女医第 1 号となる。5 月本郷湯島（現文京区）に医院開業し、後に下谷（現台東区）に移る。
明治 20 年	（1887 年）大日本婦人衛生会を設立。この年より以前、明治女学校校医となる。
明治 23 年頃	（1890 年）熊本県の志方之善（しかたゆきよし）と結婚。
明治 27 年	（1894 年）北海道のインマヌエル（現今金町（いまかねちょう）に入植。
明治 30 年頃	（1897 年）道内の瀬棚村（現せたな町）に移り医院を開業。
明治 41 年	（1908 年）帰京し、本所区新小梅町（現墨田区）に開業。
大正 2 年	（1913 年）6 月 23 日死去（62 歳）、本郷教会（文京区）にて葬儀、墓地は雑司ヶ谷霊園（豊島区）に建立。

大川　2019年、日本女医会のメンバーでせたな町に行きました。

まず感じたことは、とにかく遠くて交通の便も非常に悪い…。荻野吟子が訪れた当時はもっと未開の地だったと思います。そこを開拓して医院を開業する、とてつもない苦労があったのではないでしょうか。実際に足を運び、目で見たことで、やはりこの人はすごい行動力の持ち主だったんだと改めて思いました。そして、もっと荻野吟子のことを多くの人に知っていただきたいと強く思うようになったんです。

その皮切りとして、まずは熊谷女子高校の皆さん、そして、市内の小中高生に荻野吟子の生涯をお伝えする講演をお届けしたいと思っています。荻野吟子を知ることで郷土愛を深めることにつながってくれたらうれしいです。そのためならどんな協力も惜しみません。

市長　例えばお隣の深谷市は渋沢栄一がドラマになり、まちの象徴になりつつあります。熊谷市も荻野吟子をまちのブランドにまで昇華させたいと思っています。

まずは地域間の連携を深めていき、そして荻野吟子を市民だけではなく、全国の皆さんに向けて発信していきたいと考えています。

患者さんの心に寄り添う医者でありたい



せたな町訪問時の様子

市長　大川先生は、現在、眼科医として仕事をされているほかに、（一社）日本プロスピーカー協会に所属し、各地で講演されるなど様々な分野でご活躍されておりますが、今後の目標や抱負などがありましたら、お聞かせください。

大川　私は、患者さんの心に寄り添える医者でありたいと思っています。

眼科に来る患者さんは、目の調子が悪いだけでなく、心に様々な悩みを持っておいでになります。

私は、そういった心に悩みを抱えている患者さんに寄り添いたいと思い、病院の中に「こころのほけんしつ」を立ち上げました。

「こころのほけんしつ」は、希望する患者さんが私と1対1でどんな悩みでもお話いただける安心安全空間です。

そこで、私は、プロスピーカー（講演家）として学んできた7つの習慣を意識して、患者さんとお話をしています。

7つの習慣とは、「傾聴する」「支援する」「励ます」「尊敬する」「信頼する」「受容する」「意見の違いを交渉する」の7つです。

この習慣を意識し、患者さんと接するように努めています。

その成果もあって、患者さんか



らは「先生に会っただけで安心する」と言ってもらえるようになり、とても嬉しく思っています。

また、眼科医としては、子どもの近視の進行抑制に尽力したいと考えています。

日本人の子どもの近視がものすごいスピードで進んでいます。近視が進んでしまうと大人になってから緑内障・網膜剥離（もうまくはくり）といった重大な病気につながる危険があるのです。私の息子も強度近視から緑内障を患ってしまいました。小さいころに近視進行を抑制することができず、後悔しています。こんな実体験から子どもたちの近視の進行を抑制できるよう啓発していくことも今後の目標の一つです。

市長　そのように患者さんの健康を気遣っているんですね。

私たちが健康に生活できているのは、先生方が私たちの心や体を丁寧に診てくださっているからだと改めて実感しました。


荻野吟子開業の跡 記念碑（せたな町）

自分たちでまちをつくっていく

市長　最後に、市民のみなさんへメッセージがあればお聞かせください。

大川　熊谷市が魅力的なまちになるためには、熊谷市民みんなが努力していく必要があると思っています。



各地で講演を行っている様子

そのために、私は、今後も眼科医として、市民のみなさんの眼を治療するとともに「こころのほけんしつ」で心の健康に少しでも貢献していきます。

また、市民のみなさんには、まだ、荻野吟子を知らない方もいらっしゃると思いますので、興味を持っていただき、荻野吟子記念館に足を運び、荻野吟子に触れてみてほしいと思っています。

私も多くの方に荻野吟子のことを知ってもらえるよう引き続き努力してまいります。

市長　本日は、荻野吟子のお話を私以上に熱く語っていただくとともに、眼や心の健康について、貴重なお話をしていただきました。

熊谷市としては、逆境の中、強い信念と行動力で道を切り拓いてきた荻野吟子を通して、熊谷市民に、よりプライドを持っていただけるような街づくりを推進していきたいと思いました。

大川先生にも市民のみなさんへのメッセージをいただきましたが、行政と市民が互いに熊谷市をより魅力的なまちとなるよう自ら行動を起こし、努力していくことが重要であることを再確認することができました。

大川先生には、引き続き眼科医、プロスピーカーとしてご活躍されることを期待するとともに、熊谷市がより魅力的なまちとなるようご協力をいただきますようお願いいたします。

本日は、誠にありがとうございました。


診察中の様子



問 広報広聴課　内線206

第20回 夢・未来 熊谷ジュニア議会を開催！

11月14日に熊谷市議会議場で「第20回夢・未来熊谷ジュニア議会」が開催されました。市内16の中学校から、代表として選ばれたジュニア議員が、熊谷市を「より魅力のあるまち・住みたいと思ってもらえるまち」にするためにはどうしたらよいかを考え、自分の考えや意見を質問し、市長をはじめ、副市長、教育長、担当部長が答弁を行いました。会議録は右記コードからご覧ください。

問 広報広聴課　内線212

市ホームページ



8月 ワークショップを開催！

本番に向けて意見を出し合い、質問を考えました。また、議場でシミュレーションを行いました。



11月 ジュニア議会 本番！

緊張しながらも、堂々とした態度で質問を行いました。また、自分以外の質問にも耳を傾け、熱心にメモを取っていました。



講評



小林 哲也 熊谷市長

皆さんの姿は大変立派でとても頼もしく感じました。

これからも熊谷市の将来や魅力発信のために皆さんの意見やアイデアをぜひお寄せください。また、将来、それぞれの分野で活躍してくれることを期待しています。

皆さんの質問から、熊谷市の取組への深い関心と、より良いまちへの強い願いが伝わってきました。熊谷市の未来を皆さんの世代が担うこともそう遠くありません。

今日の経験を将来にいかして、やがては市議会議員として本市の発展に尽力される方が輩出されることを期待しています。



小鮒 賢二 市議会議長

議長・副議長、大役お疲れ様でした！



議長



副議長



令和7年度　予算執行状況（4月～9月末）

皆さんが納めた税金や国・県の補助金などが、市にどのくらい入り、どのように使ったのか、市の財政運営の状況を年2回お知らせしています。

今回は、令和7年4月1日から9月30日までの状況です。当初の計画に沿っておおむね順調に事業が進んでいます。今後も無駄を省き、将来を見据え適正な予算の執行を心がけていきます。

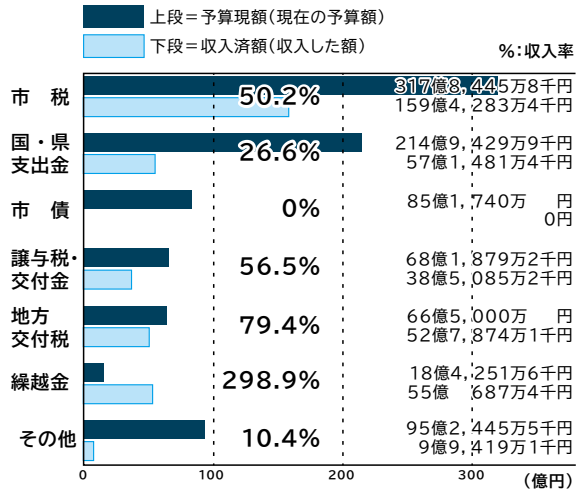
より詳しい情報は、市ホームページでご覧になれます。

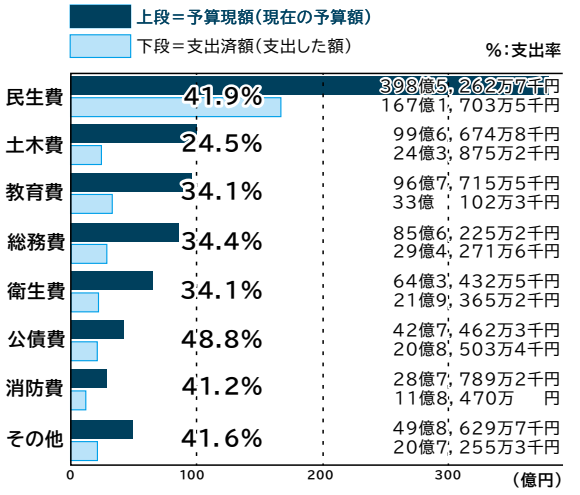
問財政課　☎内線240

一般会計

収入		
	予算現額	866億3,192万　円
	収入済額	372億8,830万6千円
	収入率	43.0%

支出		
	予算現額	866億3,192万　円
	支出済額	329億3,546万5千円
	支出率	38.0%





特別会計　歳入歳出予算の執行状況

（単位：千円、%）

会計区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険	18,750,093	7,901,221	42.1	8,992,536	48.0
熊谷都市計画事業土地区画整理事業	1,756,707	286,429	16.3	448,400	25.5
後期高齢者医療	3,326,048	1,198,730	36.0	853,398	25.7
合計	23,832,848	9,386,380	39.4	10,294,334	43.2

市債現在高の状況

（単位：千円）

	令和6年度末	上半期発行額	上半期償還額	上半期末
一般会計	29,770,145	0	2,023,915	27,746,231
特別会計	0	0	0	0
合計	29,770,145	0	2,023,915	27,746,231

※金額は、千円未満を四捨五入しているため、計と一致しない場合があります。

令和6年度介護保険特別会計決算をお知らせします

令和6年度大里広域市町村圏組合介護保険特別会計の決算が確定しましたので、主な内容についてお知らせします。

歳入総額は351億4，752万3千円で、対前年度比2．89%増、歳出総額は343億9，625万2千円で、対前年度比3．66%増となりました。なお、令和6年度の歳入歳出差引額は7億5，127万1千円です。

問大里広域市町村圏組合介護保険課
☎048-501-1330

■歳入

歳入項目	歳入額
第1号被保険者保険料	81億1，450万2千円
市町負担金	52億　561万2千円
国庫支出金	68億6，841万9千円
支払基金交付金	87億7，594万8千円
県支出金	48億1，451万5千円
その他	13億6，852万7千円
合計	351億4，752万3千円

■歳出

歳出項目	歳出額
総務費	5億7，432万3千円
居宅介護サービス費等	163億4，840万5千円
施設介護サービス費	99億9，695万1千円
地域密着型介護サービス費等	37億　203万4千円
高額介護サービス等費	7億4，419万6千円
高額医療合算介護サービス等費	7，721万8千円
特定入所者介護サービス等費	6億4，128万9千円
審査支払手数料	1，955万6千円
地域支援事業費	11億4，933万2千円
その他	11億4，294万8千円
合計	343億9，625万2千円

市民税・県民税申告受付は2月12日(木)～3月16日(月)です

対象の方は、同時配布「市民税課からのお知らせ」チラシや右記コードをご確認の上、ご申告ください。

チラシは市役所本庁舎、各行政センターなどでも配布しています。

※令和7年度市民税・県民税申告書を提出した方には、1月下旬頃に令和8年度申告書を発送します。

市ホームページ

問市民税課　☎内線246、247

1　電子申告

インターネット上で源泉徴収票や控除証明書の金額を入力するだけで申告書を作成できる、市民税・県民税申告書作成システムもありますので、ぜひご利用ください。　※令和8年度版は、1/5(月)公開予定です。

2　郵送での申告

申告する収入のない方は、郵送でのご提出にご協力をお願いします。

3　会場での申告

申告会場へは多くの方がお越しになり、大変混雑します。

予約をしてないと、受付までに長時間お待ちいただく場合があります。

受付会場　市役所本庁舎、各行政センターとさくらめいと

受付時間　開催日程の9:00～15:00(さくらめいとは9:15～15:00)

※会場により開設期間が異なります。詳しくは、同時配布チラシをご確認ください。

●来場予約をお願いします

予約方法	受付期間
インターネット予約	1/20(火)9:00～3/13(金)15:00　※24時間受付可
電話予約(市民税課) ※予約に空きがあれば受付可	2月分:1/20(火)～　3月分:1/27(火)～ ※9:00～17:00受付(土・日曜日、祝日を除く) 「申告の予約がしたい」とお伝えください。

※会場の混雑状況によっては入場整理券を配布し、再来場をお願いすることがあります。(事前予約優先)

【完全予約制】スマホ確定申告相談会

対象　①給与または公的年金による所得のみの方
②給与または公的年金による所得以外に、事業所得などがある方

とき　2/2(月)、2/3(火)
9:00～10:30、10:30～12:00、
13:30～15:00、15:00～16:30

特設会場　本庁舎1階ホール北側

申込方法　インターネット予約で
1/7(水)9:00～(先着順)

※右記コードから詳細を確認の上、予約してください。

市ホームページ

問市民税課　☎内線246、247

税理士による所得税の確定申告無料相談

対象　①給与所得者と公的年金受給者で、収入金額が600万円以下の方
②医療費控除を受けようとしている方
③年の途中で退職または就職などにより、年末調整を受けていない方

とき　2/2(月)～13(金)
(土・日曜日、祝日を除く)

申込方法　電話で事前に下記またはお近くの税理士事務所へ

問関東信越税理士会　熊谷支部
☎048-521-3312

事業主の皆様へ～給与支払報告書の提出をお願いします～

令和7年分の提出期限は2月2日(月)です。お早めに提出してください。
なお、市から総括表が送付された事業所などは、送付された総括表を使用または添付してください。
支払額の多少に関わらず、令和7年中に給与などの支払いをした従業員全員(パート・アルバイト・役員・退職者を含む)分の提出をお願いします。

eLTAX(エルタックス)などによる提出のお願い

令和6年に税務署へ源泉徴収票を100枚以上提出した事業所は、令和8年度(令和7年分)の給与支払報告書をeLTAXなどにより電子データで提出する義務があります。また、eLTAXで提出する場合、特別徴収税額通知(特別徴収義務者用と納税義務者用)の受取方法について、書面または電子データのどちらか一方をそれぞれ選択してください。

システム標準化に伴い総括表の様式が変更になりました

普通徴収切替理由書（兼仕切書）が裏面になりましたので、普通徴収の対象となる方がいる場合は、必ず裏面もご記入いただき提出してください。
※記入方法の詳細は、右記コードからご確認いただくか、下記へお問い合わせください。

問市民税課　☎内線 244、554

市ホームページ

償却資産申告書の提出はお早めに

対象　令和8年1月1日現在、市内に償却資産(※)を有する個人または法人と、事業として他人に償却資産を貸し付けている個人または法人の方
(※)事業を営む個人または法人の方が、その事業のために用いることができる構築物、機械・装置、工具・器具・備品など(土地・家屋は除く)のこと
提出方法　市ホームページから申告用紙をダウンロードの上、2/2(月)までに下記へ郵送または直接提出(eLTAXによる電子申告も可)
※詳しくは、右記コードからご確認いただくか、下記へお問い合わせください。
問資産税課　☎内線252

市ホームページ

20歳になったら国民年金！　あなたの人生をサポートします

国民年金加入で3つのメリット

①老後を支えます（老齢基礎年金）
②病気やけがで障害状態になったときに支えます（障害基礎年金）
③加入者が亡くなったとき「子のある配偶者」、「子」を支えます（遺族基礎年金）

国民年金保険料の免除制度
【学生納付特例制度】
学生の方で、本人の所得が一定以下の場合に、申請が認められると在学期間中の保険料を後払いできます。
【申請免除・納付猶予制度】
20歳以上60歳未満の方で、本人と配偶者・世帯主の所得が一定以下の場合に、申請が認められると保険料が免除されます。納付猶予は、50歳未満の方で本人と配偶者の所得が一定以下の場合に、申請が認められると保険料を後払いできます。
※国民年金保険料の納付方法など、詳しくは下記へお問い合わせください。
問保険年金課　☎内線 277　問各行政センター市民担当係
問熊谷年金事務所　☎048-522-5012（音声案内２番のあと１番）

確定申告に伴う国民健康保険税等の年間納付額

確定申告される方で、年間納付額の確認が必要な方は、右記へお問い合わせください。
問納税課　☎内線 257、258

項目	問合せ先
国民健康保険税	問納税課(☎内線257、258)
後期高齢者医療保険料	問保険年金課(☎内線278、302)
介護保険料	問長寿いきがい課(☎内線217、451)